

1年

数学科 令和8年度 指導計画・評価規準

月	単元・教材名	学習目標	学習活動	評価規準	観点	評価方法
4	0・1章 整数の性質 正負の数 1 2時間	<ul style="list-style-type: none"> ・符号のついた数を理解する ・数の大小を理解する ・正の数や負の数の加法ができる ・正の数や負の数の減法ができる ・加法や減法の混じった計算ができる 	符号や正の数、負の数の意味 不等号の意味 正負の数の加法の意味と計算方法 正負の数の減法の意味と計算方法 加法や減法の混じった式を計算をする	正の数や負の数に関する用語を理解している 正の数や負の数を数直線で表したり、不等号を使って表現できる 正負の数の加法の意味がわかり、計算ができる 正負の数の減法の意味がわかり、計算ができる 加法、減法を統一的に見ることができ、代数和の考えで計算ができる	I III II I I I II III	観点 I 知識・技能 ・定期考査 ・授業での発言内容 ・ノート、問題集での計算方法
5	1章 正負の数 1 4時間	<ul style="list-style-type: none"> ・正の数や負の数の乗法ができる ・整数や負の数の除法ができる ・乗法や除法の混じった計算ができる ・四則計算ができる ・数の範囲と四則について理解する 	正負の数の乗法の意味と計算方法 正負の数の除法の意味と計算方法 交換法則や結合法則を利用して計算できる 四則の混じった式の計算をする 数の範囲とその範囲でいつでもできる四則について調べる	乗法や除法を統一的に見ることができる 交換法則や結合法則、分配法則が成立することを理解している 正負の数の四則計算ができる 数の範囲とその範囲で計算可能な四則計算について理解している	I II III I I I	観点 II 思考・判断・表現 ・小テスト、単元テスト
6	2章 文字と式 1 5時間	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を使うことができる ・文字を使った式で表すことができる ・代入と式の値を求めることができる ・一次式の計算ができる ・文字を使った公式を作ることができる 	文字の導入とそれを使う良さ 文字使用のきまりにしたがって、色々な数量を表現する 代入と式の値を理解し、具体的な場面で値を求める 一次式の意味を理解し、一次式のいろいろな計算ができる 図形についての公式を文字を使って表すことができる	文字を用いることで数量を統一的に表現できる事を理解している 文字を使っていろいろな数量を表そうとしたり、数理的に考察することができる 代入や式の値の意味を理解し、値を求めることができる 一次式の意味と計算方法を理解している 文字式の計算の意味を具体的な場面と結びつけて理解し、それを利用する	I II II I I II	・定期考査 ・授業での発言内容 ・ノート、問題集における記述力 ・小テスト、単元テスト
7	3章 方程式 7時間	<ul style="list-style-type: none"> ・一次方程式の意味がわかる ・大小関係を表す式を不等号を用いて表す ・一次方程式を解くことができる 	数量の間の関係を等式で表す 不等号 \leq 、 \geq の意味を理解し、不等式を用いて数量の間の関係を表す 一次方程式の解き方 移項の意味	数量の間の関係を等式で表すことができる 不等式で表された数量の間の関係を読み取ることができたり、表すことができる 方程式、方程式の解、移項、一次方程式の意味を理解している 方程式を移項や等式の性質を使って解くことができる	I I I I	観点 III 主体的に学習に取り組む態度 ・授業態度 ・ノートの提出状況・内容
9	3章 方程式 1 5時間	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの解き方を理解し、いろいろな一次方程式を解くことができる ・一次方程式の利用して、解決することができる 	いろいろな方程式を解く いろいろな問題を一次方程式を用いて解くことができる	いろいろな方程式を能率的に、正確に解くことができる 文章問題を方程式を用いて解くことができる 問題解決の場面で数量の関係を比例式で表し、問題の答えを求めることができる	I III I II	・問題集の提出状況・内容 ・宿題の提出状況・内容 ・忘れ物の有無 ・小テスト、単元テスト
10	4章 比例と反比例 1 3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・変数、比例、関数、変域の意味を理解する ・比例の意味を理解し、比例の関係を式の表すことができる ・座標の意味や点の位置について理解する ・比例のグラフをかくことができる 	ともななって変わる量の変化の仕方調べ 事象の中から比例する量を見つける 座標に関する用語の意味 $y = ax$ のグラフを書く $y = ax$ の値の変化を調べ、特徴を知る	2つの量の関係を対応と変化で捉えようとする 事象の中から比例する量を見つけ、それを式で表せる 座標の意味を理解している 表、式からグラフがかけ 値の変化のようすからグラフの特徴や変化の状態を考える	III I I I II	
11	4章 比例と反比例 1 4時間	<ul style="list-style-type: none"> ・反比例の意味を理解できる ・反比例のグラフをかくことができる ・身のまわりの問題を比例や反比例を利用して解決することができる 	反比例の意味を理解する 反比例のグラフを書く 反比例のグラフの特徴を知る 比例や反比例の見方考え方を利用して問題を解く	反比例の意味がわかる 表、式からグラフがかけ 双曲線という曲線になることを知る 比例や反比例の表、式、グラフを用いて事象を表現したり、能率的に処理する	I I I II III	
12	5章 平面図形 1 5時間	<ul style="list-style-type: none"> ・対称な図形の意味とその性質を理解できる ・基本的な作図を理解し、作図することができる ・図形の移動の意味とその性質を理解することができる 	対称な図形の性質や合同の意味 定規、コンパスの使い方と作図 平行移動、回転移動、対称移動の意味 それぞれの移動における性質	線対称、点対称な図形は合同な2つの図形に分けられることを理解し、基本的な性質を考えたりする 定規、コンパスに使い方を知り、作図の意味と方法を理解して、図を書いたり、性質を考えたりする 3つの移動をたがいに関連づけて理解する 3つの移動について、それらの性質を見いだしたり、調べたりすることができる 3つの移動について、移動させた図形を書くことができる	II III II I I	
1	6章 空間図形 1 5時間	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな立体の特徴や性質を理解することができる ・立体をいろいろな見方で分類することができる ・立体の投影図について理解し、立体を読み取ることができる 	多面体の意味 正多面体の意味とその種類 立体を底面の数などに着目して分類する 角柱、角錐、円柱、円錐の共通点と相違点 投影図の意味	多面体の意味を理解し、それらを調べる 正多面体の意味を理解し、頂点や辺の性質からその種類を考え、5種類しかないことを知る 立体を底面の数などに着目して分類することができる それぞれの立体の意味を理解し、その特徴を調べることができる 投影図の意味を理解し、これを用いて空間図形の性質を見いだし、考えることができる	I II II III I II	
2	6章 空間図形 1 0時間	<ul style="list-style-type: none"> ・立体の表面積と体積の求め方を理解し、それらを求めることができる ・球の表面積と体積の求め方を理解し、それらを求めることができる 	表面積、側面積、底面積の意味 角柱、角錐、円柱、円錐の体積 球の表面積と体積を求める	表面積、側面積、底面積の意味を理解し、その求め方を知り、求めることができる 立体の体積の求め方を知り、それを求めることができる 球の表面積や体積の求め方を、その球がちょうど入る円柱の表面積、体積をもとにして導くことができる	I I II II	
3	7章 データの分析と活用 1 0時間	<ul style="list-style-type: none"> ・既習のデータの整理や分析の方法を、問題解決に生かそうとしている ・目的に応じてデータを度数分布表やヒストグラムに表し、特徴を読み取ることができる ・起りやすさの表す確率の必要性とその意味を理解する 	度数分布 範囲と代表値 データを使った問題解決	度数分布表やヒストグラムなどを理解し、それを表したすることができる 資料の範囲や代表値を求め、資料の傾向を読み取ることができたり、説明することができる データを正しく読み取ることができ、考察し、判断することができる データを分析して問題解決する過程を生活や学習に生かそうとしている	I II I II III	